

VL-VG560L



VL-MGD10



Panasonic®

取扱説明書

(設置説明付き)

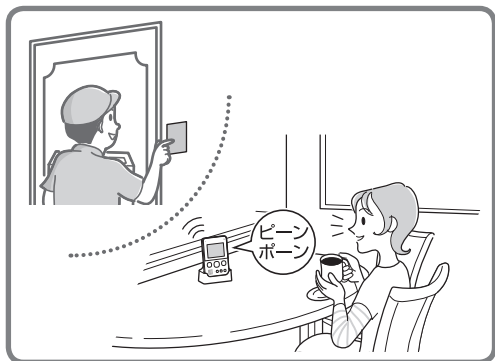
ワイヤレス テレビドアホン

ブイエル エスジーディー エル
品番 **VL-SGD10L**

確認と
準備

使い
かた

必要
な
とき



Ni-MH

ニッケル水素電池の
リサイクルにご協力ください。

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください



<http://club.panasonic.jp/>



※このサービスは WEB 限定のサービスです。

保証書付き
(裏表紙)

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

- 本機は、盗難・侵入を阻止するものではありません。
発生した損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書に記載のイラストや画面はイメージです。実際とは異なる場合があります。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531 福岡市博多区美野島四丁目 1 番 62 号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2015



PNQX7756ZA

PNQX7756ZA N1115MT0

Printed in Vietnam

各機器の名称について



ワイヤレス玄関子機
(本書の表記: ドアホン)



ワイヤレスモニター親機
(本書の表記: ドアホン親機)

付属品の確認

不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

- ドアホン用の電池は付属されていません。
P.24「仕様」の「電源」欄を参照のうえ、ご用意ください。

〈ドアホン用〉

- ☐ 壁掛け用ねじ (長さ 25 mm) 2
- ☐ 防水シート 2

〈ドアホン親機用〉

- ☐ 壁掛け用ねじ (長さ 20 mm) 2
- ☐ 充電台 1
- ☐ ACアダプター 1
- ☐ 電池パック 1

ライセンス・商標など

- 本製品はAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - (i) 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること。
 - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- ドアホン親機のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

もくじ

確認と準備

安全上のご注意	3
使用上のお願い	6
各部のなまえとはたらき	8
ドアホン親機の設置・充電	10
日時(時計)の設定	11
ドアホンの設置	12

使いかた

来客の呼び出しに応答する	16
ドアホン側の様子を見る(モニター) ...	16
録画する(自動録画/手動録画)	17
録画を再生する	17
画像を保護する	18
画像を消去する	18
表示に関する機能や設定	18
映像の明るさを変える	18
ドアホンの逆光補正をする	18
ドアホンの照明を点灯させる	18
音に関する機能や設定	19
呼出音量を変える	19
呼出音の種類を変える	19
受話音量を変える	19
送話音量を変える	19
機能設定一覧(設定方法と一覧表) ...	20

必要なとき

電池残量やアンテナレベル (電波の状態)を確認する	22
中継アンテナを使用する	22
電池や電池パックを交換する	23
別売品	24
仕様	24
困ったとき	25
こんな表示が出たら	27
保証とアフターサービス	28

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

ドアホン用電池の取り扱いについて
(市販の充電式ニッケル水素電池・
アルカリ乾電池・リチウム乾電池)



危険

発熱・発火・破裂・液もれを防ぐために



禁止

- 分解・改造しない
- 火の中に捨てたり加熱しない
- (+)(-)端子を金属などに接触させない
- ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない



- (+)(-)は正しく入れる
- 市販のニッケル水素電池は専用充電器で充電する



危険

事故を防ぐために



禁止

- 液もれしたときは、“液”に触れたり目に入れない
(目に入ると失明など障害の原因)
→ 目に入ったら、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。



警告

発熱・発火・破裂・液もれを防ぐために



禁止

- 状態の異なる電池を混用しない
・新旧の電池、種類(充電式と乾電池、アルカリとマンガンなど)の異なる電池、銘柄・電池容量・充電状態(充電式の場合)の異なる電池など
- 乾電池を充電しない



- 使えなくなった電池はすぐに取り出す
- 長期間使わないときは、機器から電池を取り出す
- 漏液や異臭時は火気から遠ざける



注意

発熱・発火・破裂・液もれを防ぐために



禁止

- 指定の電池以外は使用しない
- 水などの液体でぬらさない
- くぎを刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしない
- 火やストーブのそば、直射日光の強いところなど高温の場所で使用・放置したり、充電式の電池を充電しない

ドアホン親機用電池パック(ニッケル水素電池)の取り扱いについて

危険

液もれ・発熱・破裂を防ぐために



禁止

- 分解・改造しない
- 指定の電池パック以外は使用しない
- 付属の電池パックを、この機器以外に使用しない
- 火の中に捨てたり加熱しない
- 端子を金属などに接触させない
- ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない



- 専用の充電台とACアダプターを使用して指定の電池パックを充電する

事故を防ぐために



禁止

- 液もれしたときは、“液”に触れたり目に入れない
(目に入ると、失明の原因)
→ 目に入ったら、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

ドアホンの設置について(既設のチャイム/ベル/ブザー/テレビドアホン/音声ドアホンから取り替える場合)

警告

感電などを防ぐために



- 既設の製品の取り外しは既設の製品の説明書に従い、電源(AC100V)の工事が必要なときは、必ず電気工事の方が工事を行う
→ 電源配線工事には電気工事士の資格が必要です。販売店へご相談ください。

本製品全般の取り扱いについて

警告

火災・感電などを防ぐために



禁止

- 分解・修理・改造しない
→ 修理は販売店へご相談ください。
- めれた手で、ACアダプターの抜き差しはしない
- 雷が鳴ったら、ACアダプターに触れない
- ACアダプターを破損するようなことはしない
・ 傷つける、加工する、熱器具に近づける、コードに過度なストレスを加える(無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど)
(傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因)
→ 修理は販売店にご相談ください。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100V以外での使用はしない
(たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因)
- 機器内部に金属物を入れない
→ 金属物が入った場合は、すぐにACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。
- 機器(充電台やACアダプターを含む)に水をかけたり、ぬらしたりしない
→ めれた場合は、すぐにACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。
- 本機を電子レンジに入れたり、電磁調理機器などに置いたりしない
- 付属のACアダプター以外は使用しない



警告

火災・感電などを防ぐために



■ ACアダプターは根元まで確実に差し込む

(差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因)

➔ 傷んだACアダプター・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ ACアダプターのほこりなどは定期的にとる

(プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因)

➔ ACアダプターを抜き、乾いた布で拭いてください。

■ 煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐにACアダプターを抜く

(そのまま使用すると、火災・感電の原因)

➔ 使用を中止し、販売店へご相談ください。

■ ACアダプターを抜くときはアダプターの本体(金属でない部分)を持って抜く

(コードを持って抜くと、コードの断線による火災・感電・やけどの原因)

事故などを防ぐために



禁止

■ 医療機器の近くでの設置や使用をしない※

・手術室、集中治療室、CCU(冠動脈疾患監視病室の略称)などには持ち込まない

■ 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない※

(※本機からの電波が医療機器や自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因)



警告

事故などを防ぐために



■ 心臓ペースメーカーの装着部位から15 cm以上離す

(本機からの電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合あり)



注意

火災・感電などを防ぐために



禁止

■ 湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない



禁止

■ 不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない

(落下による破損やけがの原因)

■ スピーカーに耳を近づけて使用しない

(急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こすおそれあり)

■ 充電台にコイン・指輪・ネックレスなどの金属物を載せない

(金属物が熱くなり、やけどや発熱の原因)



■ 壁掛けするときは、落下しないようにしっかりと取り付ける

(落下による、破損やけがの原因)

➔ 石こうボード、ALC(軽量気泡コンクリート)、コンクリートブロック、厚さ18 mm以下のベニヤ板など、強度の弱い壁は避け、指定の方法で取り付けてください。

使用上のお願い

ドアホン親機の設置について

ドアホンの設置については(P.12)

こんなところに設置しない

故障や動作障害などの原因になります。

- 火気・熱器具・冷暖房機の近く
- 直射日光の当たる場所
- 温度変化が激しく結露が発生する場所
- 振動、衝撃のあるところ
- 反響の多いところ
- 硫化水素、アンモニア、硫黄、ほこり、有毒ガスなどの発生するところ

〈その他〉

- 強電界地域や電波を発する無線局周辺では、映像や音声にノイズなどが入ることがあります。

ACアダプターを差し込む位置は…

ACアダプターは、充電台の設置場所の近くで抜きやすい場所にあるコンセントに差し込み、異常が起きた場合にコンセントからすぐに抜けるようにしておいてください。

ドアホンとドアホン親機間の通信や電波について

各機器間は、電波によって通信を行います。



使用可能距離(範囲)：100 m以内
(間に障害物がない場合)

- 補聴器をお使いの場合、種類によっては雑音が入る場合があります。
- 各機器間の通信方式など、電波について詳しくは、P.7をお読みください。

使用可能距離(範囲)について

- 機器間の距離が近すぎると、「ピー」という音(ハウリング)が生じることがあります。
- 機器間の距離が離れていたり、100 m以内でも間に次のように電波を通しにくい(または電波を反射する)障害物があると、電波が弱くなり、プツプツ音、通話の途切れ、映像の乱れや更新の遅れが起きたり、電波表示(P.22)が圏外となって使えないことがあります。

- 複層ガラスの窓や金属製のドアや雨戸
- アルミはく入りの断熱材が入った壁
- コンクリートやトタン製の壁
- 壁を何枚もへだてたところ
- 各機器をそれぞれ、別の階や家屋で使うとき

上記のような症状がある場合は、別売の中継アンテナの設置をお勧めします。
(P.22、24)

電波干渉によるノイズなどを防ぐために

■ ドアホン親機を次の機器から離す

- テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器、エアコン、給湯器リモコン(インターホン機能付き)、ホームセキュリティ関連装置の近く
- CSデジタル放送受信機器(チューナー、チューナー内蔵のデジタルテレビ、レコーダーなど)
 - CSデジタル放送の画像が乱れる原因になります。
(受信機器から離しても、特定チャンネルの画像が乱れるときはP.27)

通信の傍受について

本機はデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。

通信方式(電波)について

- 本機は、1,895.616～1,902.528 MHzの帯域を使用する無線設備です。

本機には、1.9 GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す次のマークが表示されています。(一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠)

1.9-D

- J-DECTロゴは、DECT Forumの商標です。

J-DECTのロゴはARIB STD-T101に準拠した1.9 GHz帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。同一ロゴを搭載する機器間での接続可否を示すものではありません。

J-DECT

- 本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、ドアホン親機の電池パックを抜いて、お客様ご相談センター(P.29)にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
2. その他、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター(P.29)へお問い合わせください。

その他

個人情報について

ドアホン親機には、来客映像などの録画データ(個人情報)が記録されます。これらの記録された情報の流出による不測の損害などを回避するために、お客様の責任において管理してください。

〈免責事項〉

記録された情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。記録された情報の変化、消失が生じて、それらに起因する直接または間接の損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

〈本機の修理を依頼するとき〉

- ドアホン親機の録画データは取り出すことができません。修理依頼の前に、必要に応じて録画内容を確認してください。
- データの確認後、P.21「初期化」の「出荷時に戻す」操作をしてください。
 - 初期化すると、ドアホン親機に記録された情報が消去されます。
 - 故障の状態により、ドアホン親機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

〈本機を譲渡・廃棄・返却するとき〉

P.21「初期化」の「出荷時に戻す」操作をしてください。初期化すると、ドアホン親機に記録された情報が消去されます。

プライバシー・肖像権について

ドアホンの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

お手入れについて

柔らかい布でから拭きしてください。

- 汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞って拭いてください。

〈ACアダプターを拭くとき〉

安全のため、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

〈充電機能の低下を防ぐために〉

ドアホン親機や充電台の充電端子(右記⑭)は、月に一度、乾いた布で拭いてください。

- 充電端子が汚れていると、充電時間が長くなったり、充電できないことがあります。



お願い

- お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。(変色、変質の原因になります)

その他

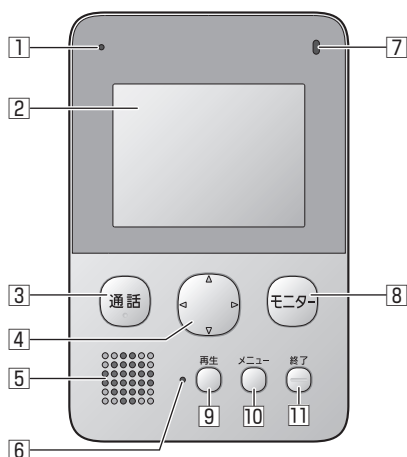
- 分解・改造することは法律で禁じられています。(故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください)
- 取扱説明書に従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 使用を中止するとき
 - 万一の落下防止のため、ドアホンやドアホン親機(壁掛け時)を壁から取り外してください。
 - ドアホンやドアホン親機の電池は取り外してください。(液もれなどの防止)

■ 本機は日本国内用に設計されています。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

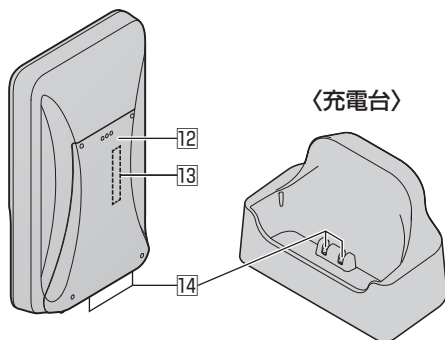
■ This product is designed for use in Japan. Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

各部のなまえとはたらき

ドアホン親機



〈背面〉



① 充電ランプ(赤) (P.11)

② 液晶ディスプレイ

③ [通話] ボタン

④ マルチファンクションキー
[▼][▲][◀][▶]

項目の選択などに使います。

⑤ スピーカー

⑥ 新着ランプ(赤)

点灯/点滅で状態をお知らせします。
(P.10)

⑦ マイク

⑧ [モニター] ボタン

ドアホン側の様子を確認できます。(P.16)

9 [再生] ボタン

録画を再生します。(P.17)

10 [メニュー] ボタン

トップメニューを表示します。(下記)

11 [終了] ボタン

12 電池力バー

13 製造番号

電池の装着部(電池力バーを開けた本体側)に記載しています。

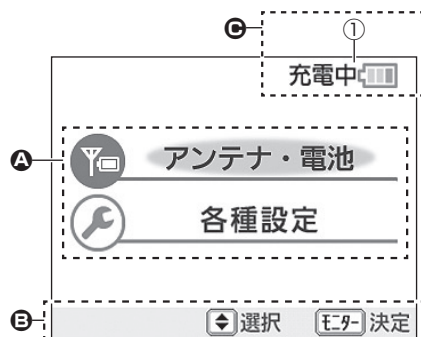
14 充電端子(金属部分)

- 3 4 8 のボタンは、画面下部の操作ガイド(下記 ③)で表示される機能进行操作するときにも使います。

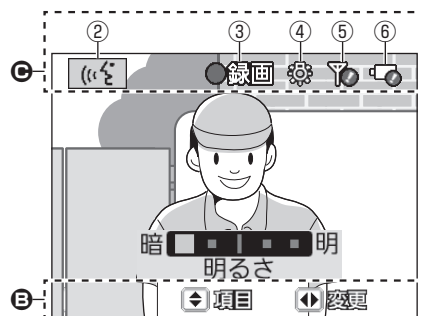
ドアホン親機の画面について

■ トップメニュー

P.11「日時設定」後、[メニュー]を押すと表示されます。



■ 映像表示中の例



④ 操作メニュー

● アンテナ・電池

ドアホンとの電波状態(アンテナレベル)、ドアホンやドアホン親機の電池残量を確認できます。(P.22)

● 各種設定

各種設定を変更できます。(P.20)

⑤ 操作ガイド

ボタンのはたらきを表示します。

⑥ 状態表示アイコン

現在の状態をアイコンなどで表します。

番号	意味
①	ドアホン親機の充電状態(充電中/充電完了)と電池残量の目安(下記) <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"><div style="text-align: center;">多い </div><div style="text-align: center;">少ない </div></div> <p>この範囲でご使用ください。</p> <p>● 充電台に置いているときのみ表示されます。</p>
②	ドアホンとの通信状態 : 通話中 : プレストーク通話中(P.16) : モニター中
③	録画中
④	ドアホンの照明が点灯中(P.18)
⑤	ドアホンとの間の電波が弱い (電波の強い場所へドアホン親機を移動してください)
⑥	ドアホンまたはドアホン親機の電池残量が少ない (P.22の電池残量確認方法で詳細を確認して適切な処置をしてください)

新着ランプ(赤)の点灯/点滅について

■点灯しているとき

新しく録画した未確認画像があります。
ランプを消すには、録画を再生してください。(P.17)

■点滅しているとき

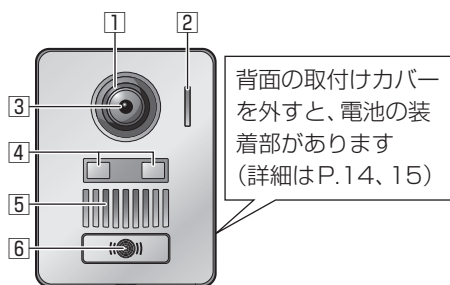
ドアホンとの間の電波(アンテナ)が圏外、
またはドアホンの電池残量が少なくなっ
ています。ランプを消すには、下記の処置
をしてください。

①【再生】を押す

アンテナ・電池の状態表示画面が表示
されます。(P.22)

②P.22の手順3、4の操作を行う

ドアホン



①レンズカバー

②マイク

③カメラレンズ

④LEDライト(照明用)

⑤スピーカー

⑥呼出ボタン

ドアホンの画質について

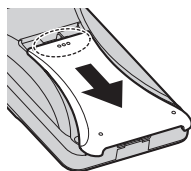
設置環境や使用する時間帯によって、来客や
背景の明るさや色味が変わることがありま
す。詳しくは(P.26)

ドアホン親機の設置・充電

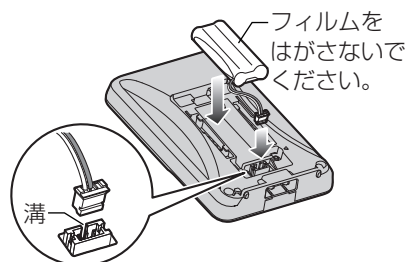
必ず充電してからお使いください。

1 付属の電池パックを入れる

- ①(○)部を押し下げ
ながら手前に引
き、電池カバーを
開ける



- ②コネクターを溝に合わせて差し込み、
電池パックを入れる

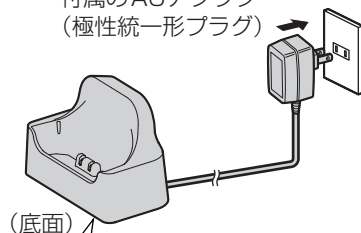


- ③電池カバーを元のように閉める

- 壁掛ける場合は、P.11を参照して
充電台を壁に取り付けてから、下記
手順2に進んでください。

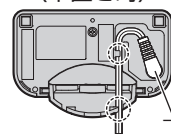
2 ACアダプターを充電台と電源コン セント(AC100V)に接続する

付属のACアダプター
(極性統一形プラグ)

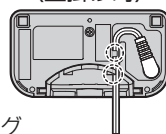


プラグをしっかり奥まで差し込み、
コードを溝に通す

〈平置き時〉

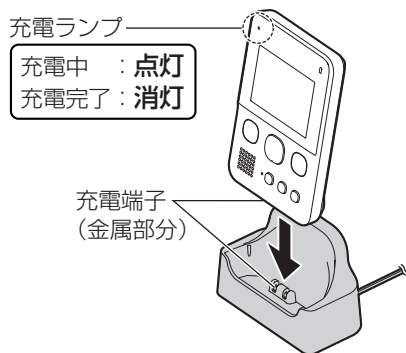


〈壁掛け時〉



プラグ

3 ドアホン親機を充電台に置き、約12時間充電する



- 充電完了後の待機 (待受) 時間の目安や、充電時間についての詳細は (P.25)
- ドアホン親機は充電台に置いたままでも過充電されません。

お願い

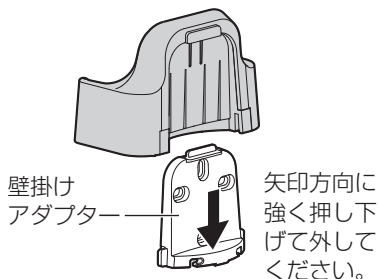
- ドアホン親機は、使用後こまめに充電台に戻してください。

ドアホン親機を壁 (柱) 掛けするには

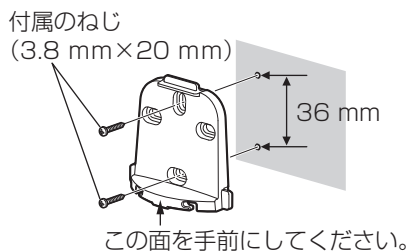
壁掛け時の注意 (P.5) をよくお読みのうえ、次の点に留意して取り付けください。
(誤動作や通話の途切れ防止のため)

- 本体を充電台に置いた状態で、上下左右に20 cm以上の空間をとる
- 壁を深くくぼませたスペースへの設置はできるだけ避ける

1 充電台から壁掛けアダプターを取り外す

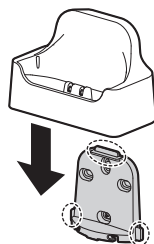


2 壁掛けアダプターを壁に取り付ける



3 充電台を取り付ける

充電台の溝に沿って壁掛けアダプターに取り付け、右図の○で示した3か所のツメが充電台に「カチッ」と収まるまで押し下げて固定してください。



日時 (時計) の設定

お買い上げ時は日時未設定です。
下記の手順で必ず設定してください。

1 【メニュー】を押し、時計設定のお知らせ画面が出たら、表示に従って【モニター】を押す

- 日時設定の画面が表示されます。

2 下記の操作で日時を合わせる

【◀】【▶】	年・月・日・時・分の項目を選ぶ
【▼】【▲】	数字を選ぶ

3 日時を合わせたら、【モニター】(決定) を押す

お知らせ

- 停電時には設定した日時が消えることがあります。その際は再設定してください。
- 時刻は1か月に約60秒ずれることがあります。
- 日時の変更は、各種設定の「日時設定」で行います。(P.21)

ドアホンの設置

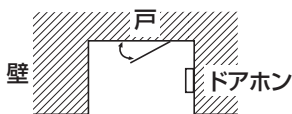
1 設置場所について

こんなところに設置しない

故障や動作障害などの原因になります。

- 凹凸が大きな外壁
- 振動、衝撃のあるところ
- 反響の多いところ

図のような場所では、「ピー」という音（ハウリング）が生じることがあります。

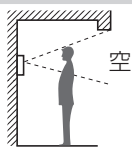


- 硫化水素、アンモニア、硫黄、ほこり、有毒ガスなどの発生するところ

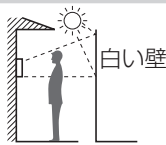
気をつけていただきたいこと

- 本体の上下左右には、下記のための空間を20 cm以上とってください。
 - 誤動作や通話の途切れ防止
 - 底面のねじの取り付け/取り外し
- 下図のように、逆光になる場所への設置は避けてください。（来訪者の顔が暗く映り、識別しにくくなります）

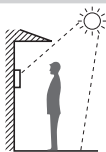
背景に空の占める割合の大きい玄関



正面に、直射日光が反射する白壁がある玄関



直射日光が当たるような、明るい玄関



- ドアホン周囲の温度差でドアホンのレンズカバーが結露し、映像が見えにくくなる場合がありますが故障ではありません。
- 取り付け場所に壁穴が開いているときは、断熱材（発泡スチロールなど）を用いて、壁穴を埋めるか、壁とドアホンの間に挟むと結露しにくくなります。
- ドアホンの防塵・防水性は（P.24）

2 外壁材の種類に応じた注意事項

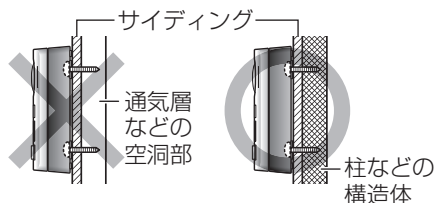
取り付け前に必ずお読みいただき、工事が必要な場合は、販売店または専門の工事に依頼してください。

サイディングの場合

- 付属のねじをお使いください。
設置場所のねじの引き抜き強度は、1本あたり196 N (20 kgf) 以上が必要です。
- サイディング外壁だけで重量を支持するとサイディングが損傷するおそれがあります。必ず、サイディングの内側にある柱などの構造体で支持できる場所に設置してください。サイディングの厚みなどにより構造体で支持できない場合は、市販のねじ（呼び径4.0 mm、長さ25 mmより長いもの）を使用してください。
- サイディング用ドリルで下穴を開け、穴開け後は粉を取り除いてください。



サイディングの内側の構造体には、下穴を開けないように注意してください。



【悪い例】

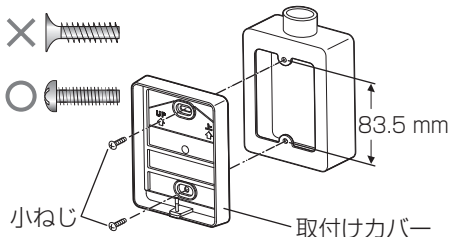
外壁部のみへの
取り付けは禁止

【良い例】

外壁部と構造体の
両方に取り付ける

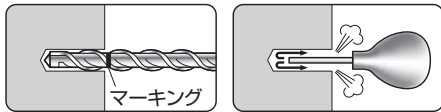
スイッチボックス(JIS1個用)の場合

- 付属のねじ、スイッチボックスに付属のねじ、ねじ頭部が皿形状のねじ(下図)は使えません。(取付けカバーが変形する原因になります)
市販の小ねじ(呼び径4.0 mm、長さ20～30 mm、ねじの先端が尖っていないもの)をお使いください。

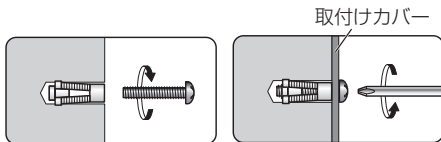


コンクリートの場合

- 付属のねじは使えません。市販のコンクリート用プラグボルト(ねじの呼び径4.0 mm、かつ、⊕ドライバーで締められるタイプ)をお使いください。それ以外のタイプのねじでは取り付けできません。
- 取り付け前にプラグボルトの説明書をお読みいただき、ドリル径と穴の深さを確認してから、下記の手順でプラグボルトを壁に取り付けてください。



- ① 下穴の深さの位置にあらかじめマーキングし、下穴を開ける
- ② 内部の粉を取り除く



- ③ プラグボルトを挿入後、ねじを抜いて仮固定する
- ④ ドライバーでねじを締める

ALC(軽量発泡コンクリート)の場合

- ALCパネルの種類(厚みなど)によっては取り付けられない場合もあります。取り付けの前に、ALCパネルメーカーにお問い合わせください。

〈取り付け可能な場合〉

- 付属のねじは使えません。必ず、市販の金属製のALC用アンカー(ねじの呼び径4.0 mm、かつ、⊕ドライバーで締められるタイプ)をお使いください。それ以外のタイプのねじでは、取り付けできません。
- 取り付け前にアンカーの説明書をお読みいただき、ドリル径と穴の深さを確認してから、アンカーを壁に取り付けてください。
- ALC用ドリルで下穴を開けたあとは、粉を取り除いてください。
- 下穴の周囲部を防水シール材(市販品)で防水処理をしてください。

その他の壁(モルタル・タイル材など)

- 付属のねじは使えません。住宅会社または工務店にお問い合わせのうえ、適切なねじやアンカーを使って取り付けてください。
- 石こうボード、コンクリートブロック、屋外に露出した木材などには設置できません。

3 設置場所の電波状態を確認する

設置の前に必ず行ってください。

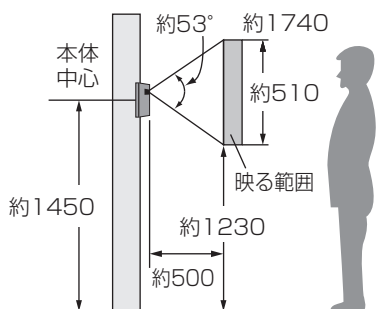
- ① ドアホン親機とドアホンに電池を入れる(P.10、14)
- ② ドアホンの呼出ボタンを押し、ドアホン親機に映像が映ることを確認する
- ③ ドアホンを設置場所に持って行く
- ④ 室内に戻り、ドアホン親機を使用するすべての場所でそれぞれ電波状態を確認する
 - 電波状態の確認方法は(P.22)

4 取り付け位置を決める

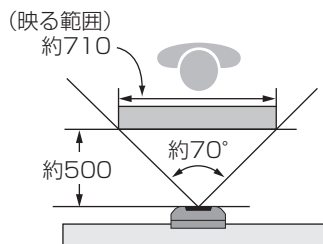
取り付け位置(高さ)と撮影範囲について

(図中の寸法単位: mm)

- 標準位置(本体中心までの高さが約 1450 mm)に設置し、カメラ角度が0°(正面)のとき<お買い上げ時の状態>

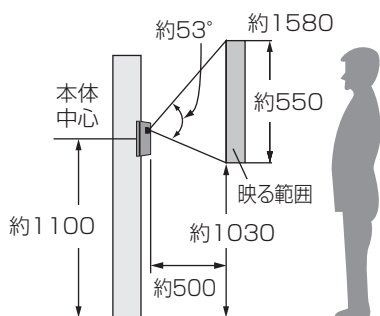


【上から見た場合】

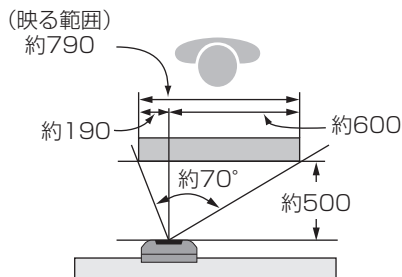


標準位置より低い位置や、左または右に離れた位置に設置する場合には、カメラ角度調節レバーで撮影範囲を調節できます。(詳細はP.15の手順3)

- 標準位置より低い位置(本体中心までの高さが約 1100 mm)に設置し、カメラ角度が15°(上向き)のとき



- 正面より左または右に離れた位置に設置し、カメラ角度が15°(左右)のとき※1
(下図はカメラ角度が左向き15°の例)



※1 上向き15°にすると、左または右向きは約7°までしか調節できません。

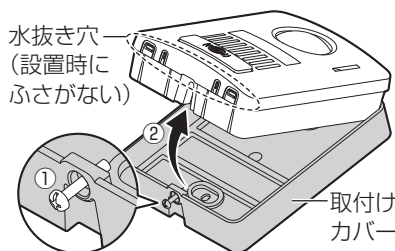
お知らせ

- エントランスポールやサインポストへの取り付けはできません。また、別売のカメラ角度調節台も使えません。

5 ドアホンに電池を入れて壁に取り付ける

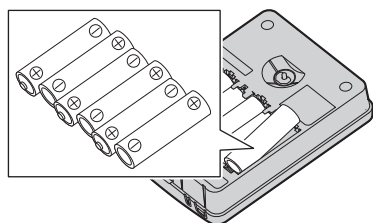
- 電池は付属されていません。P.24「仕様」の「電源」欄を参照して、ご用意ください。
- ドアホン内部と電池はぬらさないように注意してください。(電池のサビや動作不良防止)

1 取付けカバーから本体を外す



- ① ねじをゆるめ、ねじ頭をつまんで図の位置くらいまで外側に引っ張り出す
- ② 底面部を持ち上げて本体を取付けカバーから外す

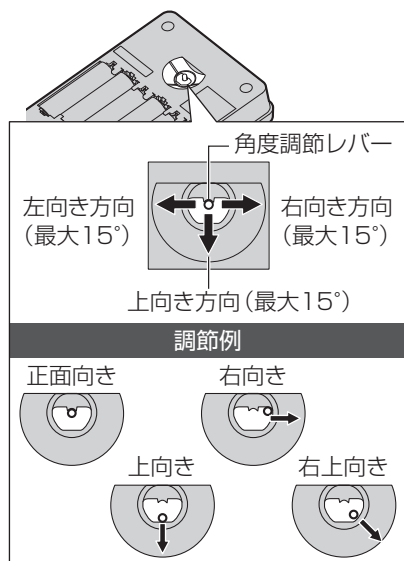
2 単3形電池(6本)を正しく入れる



- 指定外の電池を入れないでください。
- 新旧・異種の電池を混用したり、 \oplus \ominus の向きを間違えないでください。
- 乾電池を使うときは、使用推奨期限(乾電池に記載)を確認してください。

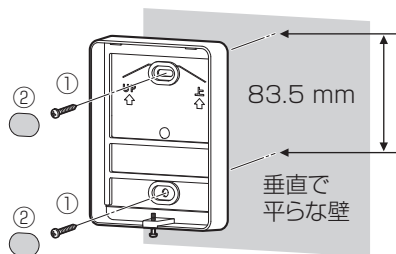
3 カメラレンズの角度を調節する

- 最大15°の範囲内で、自由な角度に調節できます。



- 「左向き」「左上向き」にも調節できます。
- 「左上向き」または「右上向き」に設定すると、画像がひずむことがあります。

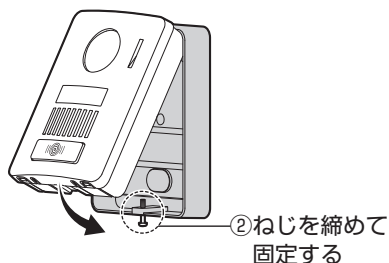
4 取付けカバーを壁面に取り付ける



- ① 外壁材の種類に応じたねじ2本(P.12、13)を使ってしっかり取り付ける
 - サイディング壁には付属のねじ(4 mm×25 mm)が使えます。
 - 取付けカバーのねじ穴は防水ゴムでふさがれています。先端の尖ったものでねじの取り付け位置にあらかじめ下穴を開けてください。
 - ねじを締め付けすぎないでください。(防水ゴムが破れる、または取付けカバーが変形・破損して本体が取り付けられなくなる原因)
- ② 付属の防水シート2枚を、ねじ止めた部分にしっかり貼り付ける

5 本体を取付けカバーに取り付けて固定する

- ① 図のように、先に本体の天面部を取付けカバーに入れて底面部を押し込む



6 正しく動作するか確認する

- ① ドアホンの呼出ボタンを押す
(ドアホン親機で呼出音が鳴り、映像が映ります)
- ② ドアホン親機の【通話】を押す
(ドアホンと通話できます)

来客の呼び出しに 応答する

ドアホンの呼出ボタンが押されると呼出音が鳴り、相手の映像が映ります。応答すると、最大約1分間、通話ができます。


1 呼出音が鳴ったら、 【通話】を押し、相手と話す

2 終わったら、【終了】を押す

周囲が騒がしく話しにくいとき (プレストーク通話)

送話と受話を手動で切り替える通話方式です。自分や相手の周囲が騒がしいときでも声が伝わりやすくなります。

1 通話中、【通話】を約2秒間押す

- が表示され、プレストーク通話に切り替わります。

2 相手と話す

■話すとき(送話)

【通話】を押したまま話す(押している間、相手の声は聞こえません)

■聞くとき(受話)

【通話】から指を離す
(こちらの声は相手に聞こえません)

お知らせ

- 着信(ドアホンからの呼び出し)は約20秒です。
- 通話時は、マイクから約50 cm以内で相手と交互に話してください。同時に話すと声が途切れます。

ドアホン側の様子を見る(モニター)

ドアホン側の様子を、映像と音で最大約3分間確認できます。

- モニター中、室内の声はドアホン側には聞こえません。
- この機能を使うには、P.21「ドアホン電池セーブ」の設定を「標準」に変更する必要があります。

1 【モニター】を押す

2 表示された映像と音声を確認する

- ドアホン側の相手に話しかけるには
【通話】を押す

3 終わったら、【終了】を押す

録画する (自動録画/手動録画)

来客時やモニター時の映像を、自動または手動で最大100件まで録画できます。

- 1件につき、静止画3枚(約0.5秒おきの3連続画像)を録画します。
- 録音機能はありません。

着信映像の録画(自動録画)

来客から呼び出しがあると、約2秒後に相手の映像を自動で録画します。

- 留守などで応答しなかったときの録画
未確認画像として記録され、新着ランプの点灯で通知されます。

新着ランプを点灯させたくないときは、P.21「新着ランプ点灯」設定を「しない」にしてください。

モニター映像や通話映像の録画 (手動録画)

録画したいときに、下記の操作をしてください。

1 モニター映像や通話映像を表示中、**【メニュー】**を押し、**【▶】**(録画)を押す

お知らせ

- 録画中は、画面に「●録画」と表示されます。
- 来客に応答したときの録画や、手動で録画した画像は、再生画面では確認済み扱いになります。
- 録画がいっぱいになったときは、新しい画像を録画するために、古い画像から順に自動で消去されます。(録画の自動更新) このため、手動で画像を消去しなくても、録画できます。ただし、未確認の画像でも消去されるため、消したくない画像は保護設定してください。(P.18)

録画を再生する

新着ランプが点灯しているときは、新しく録画された未確認画像があります。

- **【再生】**を押すと、新着ランプは消灯します。

1 **【再生】**を押す

- 録画した画像が表示されます※1。



コマ送りの再生状況
(例: 3コマ中の1コマ目を再生)

- 画像に重なる日時や操作ガイドの表示は、**【モニター】**(**ガイドOFF**)を押すと消えます。(再度押すと表示)

2 下記の操作で見た画像を再生する

【▼】【▲】	見た画像を選ぶ (長押しすると早送り/早戻しになる)
【◀】【▶】	選んだ画像をコマ送りする (前/次のコマに切り替える)

3 終わったら、**【終了】**を押す

※1 新着ランプが点灯していたときは未確認の最新画像を表示、新着ランプが消灯していたときは最新画像を表示します。

※2 未確認の画像のとき: **●**
保護設定した画像のとき: **🔒**

画像を保護する

消したくない画像を最大20件まで保護設定できます。

- 1 画像再生中に【メニュー】を押す
- 2 【▼】【▲】で「保護設定/解除」を選び、【モニター】(決定)を押す

■保護解除するとき

保護画像を再生中に、上記手順1、2を行ってください。

画像を消去する

再生中の画像を個別に消去できます。

- 画像を全消去するには(P.21)

- 1 画像再生中に【メニュー】を押す
- 2 【▼】【▲】で「1件消去」を選び、【モニター】(決定)を押す
- 3 【▼】【▲】で「はい」を選び、【モニター】(決定)を押す

表示に関する機能や設定

画面の表示(映像の見やすさ)に関する各種機能や設定を説明します。

映像の明るさを変える

- 1 映像表示中に【メニュー】を押す
 - 通話中やモニター中の場合
続けて【▼】【▲】で明るさの項目を選ぶ
- 2 【◀】【▶】で明るさを変更する

ドアホンの逆光補正をする

- 1 映像表示中に【メニュー】を押す
- 2 【▼】【▲】で逆光補正の項目を選び、【◀】【▶】で補正值(-/OFF/+)を選ぶ

ドアホンの照明を点灯させる

自動点灯機能を使う

夜間などで周囲が暗いときは、来客やモニター操作による映像表示の際に、ドアホンの照明が自動で点灯します。

- P.21「ドアホン照明自動点灯」設定
(初期値:する)

手動で点灯させる

- 1 映像表示中に【メニュー】を押す
- 2 【▼】【▲】で照明の項目を選び、【▶】を押して「ON」にする



お知らせ

- 自動または手動で点灯した照明は、映像表示が終了すると消灯します。
映像表示中に消灯させるには、上記手順2で【◀】を押して「OFF」にしてください。

音に関する機能や設定

音に関する各種機能や設定を説明します。

呼出音量を変える

- 1 **【メニュー】**を押す
- 2 **【▼】【▲】**で「各種設定」を選び、**【モニター】**（**決定**）を押す
- 3 **【▼】【▲】**で「呼出音の設定」を選び、**【モニター】**（**決定**）を押す
- 4 **【▼】【▲】**で「呼出音量」を選び、**【モニター】**（**決定**）を押す
- 5 **【▼】【▲】**で音量を選び、**【モニター】**（**決定**）を押す
 - 「切」を選ぶと確認画面が表示されます。表示に従って操作してください。
- 6 終わったら、**【終了】**を押す

呼出音の種類を変える

ドアホンからの呼出音の種類（詳細は右上）と鳴りかたを変更できます。

- 1 上記「呼出音量を変える」の手順1～3を行う
- 2 **【▼】【▲】**で「呼出音」を選び、**【モニター】**（**決定**）を押す
- 3 **【▼】【▲】**で音を選び、**【モニター】**（**決定**）を押す
- 4 **【▼】【▲】**で鳴りかたを選び、**【モニター】**（**決定**）を押す
- 5 終わったら、**【終了】**を押す

■呼出音の種類

音1	ピーンポーン
音2	ピーンポーンピーンポーン
音3	ポーンポーンポーン

受話音量を変える

ドアホンとの通話やモニターで室内側に聞こえる音量を変更できます。

- 1 ドアホンとの通話・モニター中に**【メニュー】**を押す
- 2 **【▼】【▲】**で受話音量の項目を選び、**【◀】【▶】**で音量を変更する

送話音量を変える

ドアホンとの通話で玄関（ドアホン側）に聞こえる室内音声の音量を変更できます。

- 1 ドアホンとの通話・モニター中に**【メニュー】**を押す
- 2 **【▼】【▲】**で送話音量の項目を選び、**【◀】【▶】**で音量を変更する

機能設定一覧(設定方法と一覧表)

待機中に、下記の操作で各種設定を変更できます。

1 【メニュー】を押す

- トップメニュー(①)が表示されます。

2 【▼】【▲】で「各種設定」を選び、 【モニター】(決定)を押す

- 設定の項目一覧(②)が表示されます。

3 【▼】【▲】で設定する項目を選び、 【モニター】(決定)を押す

- 選んだ項目の機能一覧(③)が表示されます。

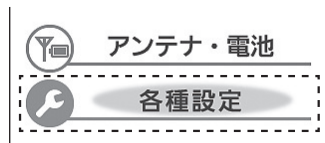
4 【▼】【▲】で設定する機能名を選び、 【モニター】(決定)を押す

- 選んだ機能によってはサブメニューが表示される場合もあります。表示に従ってこの操作を繰り返してください。

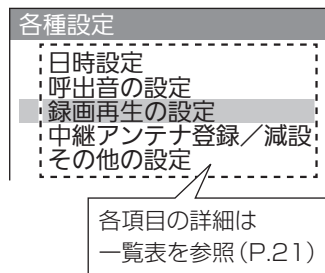
5 【▼】【▲】で設定内容を選び、 【モニター】(決定)を押す

- 機能によってはこの操作を繰り返し行い、設定完了後に【終了】を押してください。
- 設定内容の選択時に確認画面が表示される場合もあります。表示に従って操作をしてください。

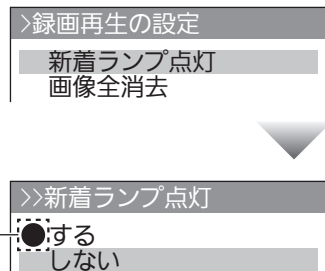
① トップメニュー



② 設定の項目一覧



③ 機能一覧(例)



「●」が現在の設定

■ 各種設定一覧表

項目名	機能名など		設定内容など	初期値
日時設定	—		● 日時の変更ができます。日時の設定画面が出たら、P.11「日時(時計)の設定」の手順2～3を行ってください。	2015年 1月1日 0時00分
呼出音の設定	呼出音量		大、中、小、切 ● ドアホンからの呼出音量を設定します。 (詳細はP.19)	大
	呼出音		音の種類: 音1～音3 鳴りかた: 押すたび、繰り返し(5秒ごと) ● ドアホンからの呼出音を設定します。 (詳細はP.19)	音1、 押すたび
録画再生の設定	新着ランプ点灯		する、しない ● 新しく録画した未確認画像があっても、新着ランプが点灯しないようにしたいときは、「しない」を選びます。	する
	画像全消去		すべての画像を消去、保護画像を残して消去	—
中継アンテナ登録/減設	登録		● 中継アンテナを登録します。(詳細はP.23)	—
	減設		● 中継アンテナを減設します。(詳細はP.23)	—
その他の設定	ドアホン電池セーブ		標準、セーブ ● 「標準」の場合、「セーブ」に比べて電池の消耗が早くなります。 (「標準」「セーブ」各設定での電池寿命の目安はP.24「仕様」の「電池寿命」欄を参照) ● 「セーブ」の場合、ドアホンの電池を長持ちさせることができますが、次の制限が生じます。 ・ 来客応答専用となり、P.16のモニター機能が使えない ・ 「初期化」や「ドアホン電池セーブ」の設定変更(次回変更時)に時間がかかる	セーブ
	ドアホン照明自動点灯	来客時	する、しない ● 「する」の場合、来客時やモニター時にドアホン側が暗いと、ドアホンの照明(LEDライト)が自動点灯します。	する
		モニター時		
	初期化		設定を元に戻す、出荷時に戻す ● 本機を譲渡・廃棄・返却するときは、「出荷時に戻す」を選びます。	—

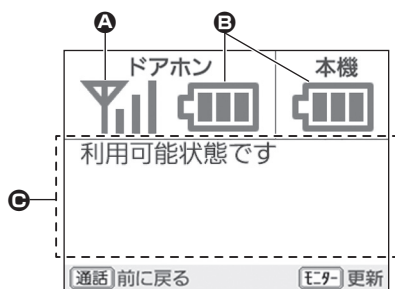
電池残量やアンテナレベル (電波の状態)を確認する

ドアホンとドアホン親機の電池残量や、電波状態(アンテナレベル)を確認できます。

1 【メニュー】を押す

2 【▼】【▲】で「アンテナ・電池」を選び、【モニター】(決定)を押す

- 現在の状態が表示されます。



3 表示を確認して適切な処置をする

- 画面の見かたと処置方法(右記)
- 状態改善の処置をしたあとで【モニター】(更新)を押すと、最新の状態を表示します。

4 終わったら、【終了】を押す

お知らせ

- ドアホンに電池を入れたあと電池残量表示が「」になるときは、ドアホンの呼出ボタンを押してドアホン親機に映像を表示させてください。そのあとで上記操作をすると正しい残量を表示します。
- ドアホンに、市販の充電式ニッケル水素電池をお使いになる場合
 - 使っていないときも自然放電によって残量が減っていきます。できるだけ使用する直前に充電してください。
 - 新品の電池でも、上記の放電状態によっては、取り付け直後に「」(残量レベル2)の表示になることがあります。

画面の見かたと処置方法

㊦ ドアホン親機とドアホン間の電波状態



この範囲でご使用ください。

- 電波が弱いまたは圏外のときは、電波の強い場所へドアホン親機を移動してください。

㊦ ドアホンやドアホン親機の電池残量



この範囲でご使用ください。

- ドアホンの電池残量表示について
 - 電波(A)が圏外のときは残量が確認できないため、「」になります。
 - 電池切れのときは電池を交換してください。(P.23)
- ドアホン親機の電池残量表示について
 - 充電中は「」になります。
 - 残量が少なくなるときはドアホン親機を充電してください。

㊦ 情報表示エリア

現在の状態に応じた情報(改善が必要な場合の処置方法など)を表示します。

中継アンテナを使用する

ドアホンとドアホン親機が離れていたり、壁などの障害物がある場合、別売の中継アンテナ「KX-FKD3」を登録・設置すると改善できることがあります。

- 通話が途切れたり、映像が乱れるとき
- (圏外) で使えないとき
- 設置は1台のみ。中継アンテナの取扱説明書もよくお読みください。

中継アンテナをドアホン親機に登録する



ドアホン親機の操作

- 1 **【メニュー】**を押す
- 2 **【▼】【▲】**で「各種設定」を選び、**【モニター】**（**決定**）を押す
- 3 **【▼】【▲】**で「中継アンテナ登録/減設」を選び、**【モニター】**（**決定**）を押す
- 4 **【▼】【▲】**で「登録」を選び、**【モニター】**（**決定**）を押す
 - 続けて約2分以内に、中継アンテナで下記の操作をしてください。

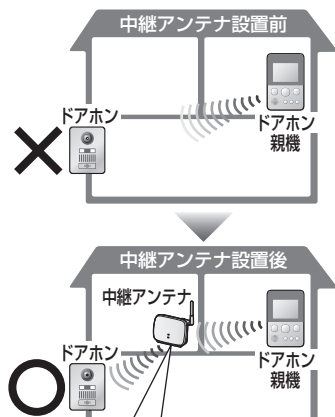


中継アンテナの操作

- 5 電源を入れ、登録ボタンを約3秒間押す
 - 電波レベル/登録ランプが緑点滅し、登録が完了すると点灯します。

- 登録が終わったら
ドアホン親機の**【終了】**を押す

設置例と電波の中継イメージ



中継アンテナを登録すると…

- ドアホン親機の電池消耗が早くなります。こまめに充電してください。
- 映像の更新速度が遅くなります。（故障ではありません）

中継アンテナの使用をやめるとき（減設）

ドアホン親機で次の操作をしてください。

- ①「中継アンテナをドアホン親機に登録する」の手順1～3を行う
- ② **【▼】【▲】**で「減設」を選び、**【モニター】**（**決定**）を押す
- ③ 確認画面が出たら、**【▼】【▲】**で「はい」を選び、**【モニター】**（**決定**）を押す
- ④ 終わったら、**【終了】**を押す

電池や電池パックを交換する

ドアホン用の電池について

電池が切れたときは、新しい単3形電池と交換してください。（P.14～15の手順1、2、5、6を参照）

■ 使用済みの電池を捨てるとき

- 充電式ニッケル水素電池の場合は（P.24）
- 乾電池（アルカリ/リチウム）の場合
 - 「燃えないゴミ」として、地域条例に従って処理してください。
 - 端子を絶縁するためにテープを貼ってください。（ショートによる液流れ・発熱・破裂の防止）

ドアホン親機用の電池パックについて

電池パックは消耗品です。充電完了後もすぐに「充電してください」と表示されるときは新しい電池パックと交換し、充電してからお使いください。（P.10の手順1～3を参照）

- 交換の際は、別売品「KX-FAN57」（P.24）をお使いください（仕様：ニッケル水素電池、DC 2.4 V、630 mAh）

- 使用済みの電池パック（ニッケル水素電池）を捨てるときは（P.24）

古いニッケル水素電池はリサイクルに…

- この製品には、ニッケル水素電池を使用しています。
- ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- 交換後不要になったニッケル水素電池、および使用済製品から取り外したニッケル水素電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。
 - 製品、ニッケル水素電池をご購入いただいた販売店
 - 一般社団法人JBRCおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局



Ni-MH

一般社団法人JBRCのホームページ
<http://www.jbrc.com>

- リサイクル時のお願い
 - ニッケル水素電池はショートしないようにしてください。(火災・感電の原因)
 - 外装カバー(被覆・チューブなど)をはがさないでください。
 - ニッケル水素電池を分解しないでください。

別売品

価格やご注文については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 記載情報は2016年2月現在のものです。内容は追加・変更になる場合があります。

中継アンテナ	KX-FKD3
電池パック	KX-FAN57

- 電池パックは、お買い上げの販売店にて、お取り寄せとなります。

中継アンテナは、販売店またはパナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけます。詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト



Panasonic Store

仕様

ドアホン(ワイヤレス玄関子機)

電 源	単3形電池6本 (パナソニック製 充電式エボルタ ハイエンドモデル推奨) ^{*1}
電池寿命	最大12か月 ^{*2}
外形寸法 (mm)(高さ ×幅×奥行)	約131 × 99 × 37.2 (突起部除く)
質 量	約240 g(電池含まず)
使用環境 条件	周囲温度： -10℃～+50℃ 湿度：90%以下
最大画角	水平：約70° 垂直：約53°
取付方法	付属の取付けカバーを使用
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
最低被写体 照度	1ルクス (カメラから約50 cm以内)
照明方法	LEDライト(照明用ランプ)
防塵・防水性	IP44 ^{*3}

ドアホン親機(ワイヤレスモニター親機)

電 源	専用ニッケル水素電池 (品番: KX-FAN57) (DC 2.4 V) (630 mAh)
外形寸法 (mm) (高さ × 幅 × 奥行) (突起部除く)	本体: 約 123 × 80 × 24.5 充電台使用時: 約 148 × 95 × 65
質 量	約 150 g (電池パック含む)
使用環境 条件	周囲温度: 0 °C ~ +40 °C 湿度 : 90 %以下
画面表示	約2.7型カラー液晶ディスプレイ QVGA (320×240) 最大 10 fps (中継アンテナ登録時は最大 6 fps)
通話方式	音声交互自動切替方式
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
使用可能 距離	約 100 m (ドアホンとの見通し距離)
待機(待受) 時間	約 50 時間 ※4 (満充電、周囲温度 20 °C、 中継アンテナ未登録時)
充電時間	約 12 時間 ※5

■ 充電台

電 源	ACアダプター AC100 V (50 Hz/60 Hz) (DC 6.5 V) (500 mA)
消費電力	待機時: 約 0.07 W (ドアホン親機を充電台 から外しているとき) 充電時: 約 1.5 W
外形寸法 (mm) (高さ × 幅 × 奥行)	約 66.2 × 95 × 64.2 (突起部除く)
質 量	約 70 g
使用環境 条件	周囲温度: 0 °C ~ +40 °C 湿度 : 90 %以下

- ※1 その他の充電式ニッケル水素電池、アルカリ乾電池、リチウム乾電池もお使いいただけますが、次の点にご注意ください。
- 電池寿命が短くなることがあります。
 - 電池の保証温度・湿度の範囲内でお使いください。
 - リチウム乾電池の場合は、公称電圧 1.5 V 以下のものをお使いください。(製品の破損防止)
- ※2 推奨電池の充電式エボルタ ハイエンドモデルを満充電にして次の条件で使用したときの目安です。
- P.21「ドアホン電池セーブ」を「セーブ」、「ドアホン照明自動点灯」を「しない」に設定
(「ドアホン電池セーブ」を「標準」に設定すると、電池寿命は最大 6 か月)
 - 周囲温度 20 °C で 1 日 3 回、1 回につき約 10 秒間映像を表示
- ※3 防塵性規格等級 4:
直径 1.0 mm 以上の固形物が侵入しないレベル
防水性規格等級 4:
あらゆる方向からの飛まつによる水によっても有害な影響を及ぼさないレベル
- ※4 充電台から外して一度も使用しない場合です。次のときは電池の消耗が早くなり、待機時間が短くなります。
- 電波状態が悪いとき
 - 中継アンテナ登録後(約 6 時間)
- ※5 使用環境温度が 20 °C のとき

困ったとき

ドアホン親機の充電

充電台に置いても充電ランプが点灯しない

- ACアダプターがコンセントや充電台から外れていないか確認し、外れていたらしっかり差し込んでください。
- 充電端子の汚れが原因の場合があります。乾いた布で汚れを拭いてください。

充電しても2、3回使うと
「充電してください」と表示される

電池パックの寿命です。
→交換してください。(P.23)

ドアホンとの通信 (来客応答・モニターなど)

下記①または②の症状がある

- ①映像が乱れる、映像の更新速度が遅い、
通話が途切れる(ほとんど聞こえない)
- ②着信しない(ドアホンからの呼び出しが
ドアホン親機に通知されない)

- ドアホン親機がドアホンから離れすぎ
ている、またはドアホンとの間にコンク
リート壁などの障害物(P.6)があると、
電波が弱くなり正しく通信できません。
→ ドアホンの近くなど電波の強い場所
にドアホン親機を移動させてくださ
い。(電波状態の確認方法はP.22)
移動できないときは、別売の中継アン
テナを設置すると改善できること
があります。(P.22)
- 上記処置後も②が改善されないとき
→ ドアホンの電池切れです。電池を交
換してください。(P.23)

ドアホン親機をドアホンに近づけても、
モニター操作時に「電波圏外です」と表示
される

- ドアホンの呼出ボタンを押してくださ
い。映像が表示されたら、表示終了後は
モニターができるようになります。
- 上記処置後も改善されないとき
→ ドアホンの電池切れです。電池を交
換してください。(P.23)

着信(ドアホンからの呼び出し)時、映像
は表示されるのに呼出音が鳴らない

呼出音量の設定が「切」になっていないか
確認してください。(P.19)

電波は良好なのに映像の更新速度が遅い

中継アンテナを登録すると、未登録時に比
べて映像の更新速度が約半分になります。
(故障ではありません)

電波は良好なのに通話が途切れる、
または、ほとんど聞こえない

自分や通話相手の周囲で大きい音(車や電
車などが通る音、ベットの鳴き声、テレビ
の音、子供の泣き声など)がしていると、
通話が途切れることがあります。

→ プレストーク通話に切り替えると、話
しやすくなります。(P.16)

ドアホン映像の画質

画面に表示した直後の映像の明るさや
色味が実際と異なる

ドアホンの周囲環境に応じて映像を補正
しますが、画面に表示した直後の映像は補
正途中のため、明るさや色味が実際と異な
る場合があります。

人の顔が暗く映る

逆光になると、来客の顔が暗く映り、識別
しにくくなります。

→ 逆光補正をしてください。(P.18)

映像がはっきりしない(焦点が合わない)

ドアホンのレンズカバーが汚れている、ま
たは結露している可能性があります。

→ 汚れているときは、柔らかい乾いた布
で拭いてください。

→ 寒暖の差が大きい季節に結露すること
があります。(周囲の温度が常温に戻れ
ば回復します)

→ ドアホンを取り付ける壁に大きな穴が
開いている場合は、断熱材(発泡スチ
ロールなど)を用いて、壁の穴を埋める
か、壁とドアホンの間に挟むと結露し
にくくなります。

映像が白っぽい、または白い線や輪が表示
される

ドアホンのカメラレンズに太陽光などの
強い光が当たると、見えにくくなる場合が
あります。(故障ではありません)

ドアホンの照明(LEDライト)が点灯してい
るのに夜間の映像が暗く、顔が識別できな
い

補助灯などの設置をお勧めします。

その他

ドアホンの電池切れが早い

- 電池寿命(最大12か月)は推奨電池を一定条件で使用時の目安です。(詳細はP.24「仕様」の「電源」「電池寿命」欄を参照)
使用する電池や使用環境条件によって電池寿命は短くなります。(故障ではありません)
- 次の場合、ドアホンがドアホン親機の電波を探す動作を繰り返すため、電池の消耗が早くなります。
 - ドアホン親機の電波が届いていない
→ ドアホンの近くなど電波の強い場所にドアホン親機を移動させてください。(電波状態の確認方法はP.22)
 - ドアホン親機が電池切れ
→ ドアホン親機を充電してください。(ドアホン親機はこまめに充電台に戻して充電してください)

録画再生で録画日時が表示されない

日時が設定されていません。または、停電などにより、設定した日時が消えています。

→ 日時を設定してください。(P.11)

ドアホン親機や充電台が温かい

異常ではありません。(夏は冬に比べて少し熱く感じる場合があります)

→ 非常に熱いときは、ACアダプターをコンセントから抜き、電池パックを外して、お買い上げの販売店にご相談ください。

正しく操作しても動かない 動作がおかしい

直らないときは次の操作をしてください。

1. ドアホンの電池を交換する(P.23)
2. ドアホン親機の電池パックを外し、10秒以上待ってから入れる(P.10)

設定内容を元(お買い上げ時の状態)に戻したい

「初期化」をしてください。(P.21)

CSデジタル放送(特定チャンネル)の 画像が乱れる

本機※1の電波がCSデジタル放送のアンテナ伝送路へ混入すると画像が乱れることがあります。

→ 下記のように、CS・BS対応の受信設備をお使いください。

- 混合器、分配器、分波器などの機器は、CS・BS対応のものを使う
- 接続ケーブルは「S-4C-FB」などの「S」で始まるCS・BS対応のものを使う
- 接続ケーブルのコネクターは、F型接栓タイプ(CS・BS専用ケーブルに対応)を使う

※1 無線通信に1.9 GHz帯を使用している中継アンテナ(別売品)も含みます。

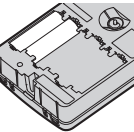
こんな表示が出たら

画面に表示されるコード番号(U●●)で検索できます。

- 記載したコード番号の一覧は、お問い合わせの多いものなどを抜粋したものです。記載以外のコード番号や表示が出ることもあります。

U3●(ドアホン登録・接続)

表示	原因と対応
U31	ドアホン親機にドアホンを再登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。 → ドアホンをドアホン親機に近づけて登録操作をやり直してください。

表示	原因と対応
U35	<p>ドアホンをドアホン親機に登録する必要があります。</p> <p>＜ドアホンの登録のしかた＞</p> <p>ドアホン親機の操作：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 【▲】、【モニター】、【メニュー】を同時に押す 2. 「登録を開始します…」と表示されたら、【モニター】を押す <ul style="list-style-type: none"> ● 続けて約2分以内にドアホンで次の操作を行います。 <p>ドアホンの操作：</p>  <ol style="list-style-type: none"> 3. 取付けカバーを外してすべての電池を外したあと、右図の位置に電池を2本入れる（電池の入れかたはP.14） 4. 約60秒以内に、表面の呼出ボタンを約5秒間長押しする <ul style="list-style-type: none"> ● LEDライトが微灯で点滅します。 <p>■ ドアホン親機に「登録しました」と表示されたら完了です 「[U31] 登録できません」と表示されたときはP.27のU31を参照のうえ、登録操作をやり直してください。</p> <p>■ 登録完了後は残りの電池をドアホンに入れてご使用ください</p>

U4●（中継アンテナ）	
表示	原因と対応
U41	<p>ドアホン親機に中継アンテナを登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。</p> <p>→ 中継アンテナの電源を確認し、ドアホン親機に近づけて登録操作をやり直してください。（P.23）</p>

保証とアフターサービス

よくお読みください

ご相談の前に

- ① P.25～28の「困ったとき」「こんな表示が出たら」をご確認ください。
- ② P.29のパナソニック 総合お客様サポートサイトの「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」なども活用ください。

使いかた・お手入れ・修理などは…

■ **まず、お買い求め先へご相談ください。**

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 () —

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは…

上記①でご確認のあと、直らないときは、まずACアダプターや電池パックを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品名	ワイヤレス テレビドアホン
品 番	VL-SGD10L
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って
お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書（本書の裏表紙に印刷）を添えてご持参ください。
（P.29「修理時にご持参いただく機器」）

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

【持込修理対象商品】

ただし、付属の電池パックは消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

お 願 い

- 停電などの外部要因により、録画、通話などにおいて発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

修理時にご持参いただく機器

〈登録してご利用時〉



ドアホン



ドアホン
親機



中継アンテナ
(ACアダプター含む)

- 上記のすべてをご持参いただけない場合、修理・返却後にお客様自身で登録操作が必要になる場合があります。
- 修理を依頼する前に、P.7「個人情報について」を必ずお読みください。

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、このワイヤレステレビドアホンの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

- 使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://www.panasonic.com/jp/support/>

パナソニック お客様ご相談センター

電話 365日 受付9時～20時
フリーダイヤル パナは 365日
0120-878-365
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「230 井」を押してください。（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

- 上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
- FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。
ご了承ください。

- 修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

<http://club.panasonic.jp/repair/>
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 365日 受付9時～20時
フリーダイヤル パナは イイヨ
0120-878-554
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

- 宅配便による引取・配送サービスも承っております。（保証期間内は無料）

■ 各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

・地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただく場合がございます。

北海道地区		近畿地区	
札幌 ☎(011)894-1255	札幌市厚別区厚別南 2丁目17-7	滋賀 ☎(077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
旭川 ☎(0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166	京都 ☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原 3番地
帯広 ☎(0155)33-8478	帯広市西20条北 2丁目23-3	大阪 ☎(06)7730-8888	東大阪市長田東1丁目3-12
函館 ☎(0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241	奈良 ☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町 800番地
東北地区		和歌山 ☎(073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
青森 ☎(0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡 字稲村262-1	兵庫 ☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台 3丁目13-4
秋田 ☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1	中国地区	
岩手 ☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43	鳥取 ☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
宮城 ☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町 7-4-18	松江 ☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
山形 ☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75	出雲 ☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
福島 ☎(024)991-9308	郡山市備前館2丁目5	浜田 ☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
首都圏地区		岡山 ☎(086)242-6236	岡山市北区野田 3丁目20-14
栃木 ☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	広島 ☎(082)295-5011	広島市西区南観音 1丁目13-5
群馬 ☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1	山口 ☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
茨城 ☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3	四国地区	
埼玉 ☎(048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番	香川 ☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分 359番地3
千葉 ☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5	徳島 ☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
東京 ☎(03)5477-9700	東京都杉並区本天沼 3丁目43-16	高知 ☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
山梨 ☎(055)222-5822	中央市山之神通流通団地1-5-1	愛媛 ☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉 75-1
神奈川 ☎(045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4	九州地区	
新潟 ☎(025)286-0180	新潟市中央区神道寺 2丁目7-1	福岡 ☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
中部地区		佐賀 ☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸 字上深町3044
石川 ☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目 266番地	長崎 ☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
富山 ☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4	大分 ☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
福井 ☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14	宮崎 ☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉 2099-2
長野 ☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11	熊本 ☎(096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
静岡 ☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松 2丁目24-24	鹿児島 ☎(099)246-7050	鹿児島市上荒田町27-4
愛知 ☎(052)819-0225	名古屋市長穂区塩入町 8-10	沖縄地区	
岐阜 ☎(058)255-5784	岐阜市西河渡3丁目73	沖縄 ☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11
三重 ☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421		

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。

<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html>

1115

愛情点検

長年ご使用のワイヤレステレビドアホンの点検を！



こんな症状はありませんか

- 電源を入れても動かないことがある。
- こげくさい臭いや異常な音、振動がする。
- ACアダプターやコードが熱を持っている。
- 日付・時刻の表示が大幅にくるうことがある。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、
ACアダプターを
抜いて、必ず販売
店に点検をご相談
ください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離れた本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ) 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
(ヘ) 本書のご添付がない場合
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(チ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

- ※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただきます。
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

ワイヤレステレビドアホン保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には
本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載し
ております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い
上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	VL-SGD10L
保証期間	お買い上げ日から 本体 1 年間 (但し電池パックは除く)
※ お買い上げ日	年 月 日
※ お客様	ご住所 お名前 電話 ()
※ 販売店	住所・販売店名 電話 ()

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒 812-8531 福岡市博多区美野島四丁目 1 番 62 号 TEL (092) 477-1800

ご販売店様へ ※ 印欄は必ず記入してお渡しください。